



## 研究検査

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますので、ご案内申し上げます。

謹白

### 記

#### 項目名

● ITPA 遺伝子多型解析

(依頼コード No. 3964)

受託開始日 2012年2月1日(水) 受付分より

C型慢性肝炎の標準的な治療法であるペグインターフェロンとリバビリンの併用療法で認められる副作用のひとつに貧血があり、重症化すると薬剤を減量せざるを得なくなります。

最近の研究で、ITPA (Inosine triphosphatase) という酵素の遺伝子多型が貧血の起こしやすさと関係することが分かってきました。rs1127354 部位の遺伝子多型はシトシン(C)→アデニン(A)であり、メジャーホモ接合タイプ(C/C)では56%に重症の貧血が見られたのに対し、酵素の働きが弱くなるヘテロ接合タイプ(C/A)やマイナーホモ接合タイプ(A/A)ではその発生頻度が4%弱であったと報告されています。

遺伝子多型の頻度は人種によって差があり、多くの日本人(約80%)がC/Cタイプですが、事前にITPA 遺伝子多型を調べておくことにより、薬の量を調節して貧血の重症化を回避するなど、個人の体質に合わせた治療計画を立てることが可能になると考えられます。

#### 受託要領

依頼コードNo.	3964
検体必要量	血液 2.0mL
容器	B-30 (EDTA2K 加血)
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	7~12日
検査方法	InvaderPlus 法
報告形式	遺伝子多型を、Major、Hetero あるいは Minor でご報告
検査実施料/判断料	未収載

【参考文献】 Fellay J. et al. : Nature 464 : 405-408, 2010.

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

電子カルテはビー・エム・エル

**Qualis**  
Medical Station